



火災による死者の9割が住宅火災で発生しています。



住宅火災から大切な命を守る!

平成29年中、火災で亡くなった65人のうち9割の59人が住宅火災によるものです。

死者が発生した住宅火災の主な出火原因として「たばこ」、「ストーブ」、「こんろ」があげられます。

住宅火災による死者の多くは高齢者です!

住宅火災による死者に占める高齢者の割合は7割以上で、主に高齢者の一人暮らしや高齢者だけの世帯で発生しています。



高齢者は、火災に気が付くのが遅れたり、避難に時間がかかることがあり、被害が大きくなる可能性が高く、特に注意が必要です。

※注:高齢者とは65歳以上の方をいいます。

死者が発生した住宅火災の主な出火原因

火災を防ぐためには、日頃からの心掛けが大切です!火災を防ぐポイントを確認して尊い命を守りましょう。

たばこによる火災

特徴

- 飲酒後の寝たばこ中に、たばこの火種が布団などに落下して出火しています。
- 吸殻をためるなどの不始末から出火しています。



たばこによる火災を防ぐポイント

- 寝たばこは、絶対にしない
- 飲酒→喫煙→うたた寝に注意
- 吸殻を灰皿にためない
- 吸殻は水で完全に消してから捨てる
- 火種を落とさないよう安全な場所で喫煙する

ストーブによる火災

特徴

- ストーブによる火災の多くが電気ストーブによるものです。
- ストーブの近くに燃えやすいものを置いたことで着火し、出火しています。



ストーブによる火災を防ぐポイント

- 周囲に燃えやすいものを置かない
- 外出時、就寝時は必ず消す
- ストーブの近くで洗濯物を乾かさない

電気ストーブ火災について中面で特集をしています。



こんろによる火災

特徴

- 火をつけたまま放置・忘れることで出火しています。
- 着ている服への着火により死者が発生し、特に高齢者の割合が高くなっています。



こんろによる火災を防ぐポイント

- 調理中に離れない
- 周囲に燃えやすいものを置かない
- 火が鍋底からはみ出さないように調節する
- 防災製品のエプロンやアームカバーを使用する
- 安全機能(Sセンサー)付きこんろを使用する

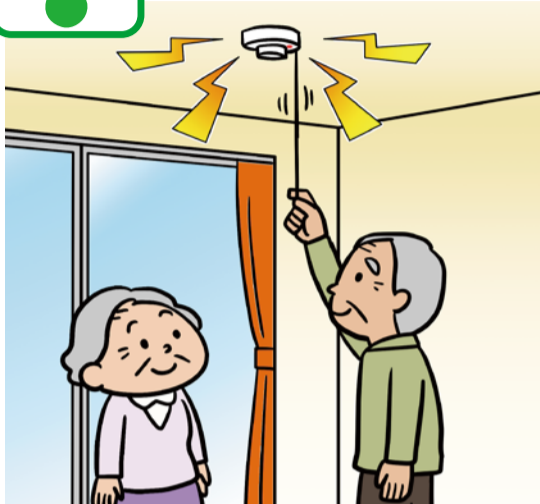
もしもの火災に備えましょう。

住宅火災の被害を防ぐため住宅用防災機器を備えましょう。



住宅用火災警報器

住宅用火災警報器は、火災を早期に発見し、知らせることで大切な命を守ります。



火災が起きた時は、いち早く気づくことがとても重要です。東京消防庁の管内(島しょ地域と稲城市を除く東京都全域)では火災予防条例により、全ての居室、台所、階段に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。定められた全ての場所へ設置しましょう。

住宅用火災警報器の性能維持のため、ホコリを取るなど掃除をしましょう。また、機器の寿命や故障、電池切れ等により、火災を感知できなくなることがありますので、本体のボタンを押す、ひもを引くなど定期的に作動確認を行いましょ。住宅用火災警報器には、火災発生時に1つの住宅用火災警報器が感知すると、設置された全ての部屋で鳴動する連動式のものや、光や振動で火災を知らせてくれる付加機能の付いたものがあります。詳しくは、お近くの消防署へお気軽にお問い合わせください。



消火器

ご家庭に消火器を備え、適切な使い方を身に付けましょう。

消火器による初期消火は、火災の被害の抑制に非常に効果的です。火を使う場所には、消火器を備えましょう。

消火器には、共同住宅等で設置が義務付けられている消火器のほか、一般住宅向けの小型で軽量の住宅用消火器や片手でも使用できるスプレー式のエアゾール式簡易消火具があります。

いざという時に備えて、地域の防災訓練や消防署のイベントに参加して消火器の適切な使い方を身に付けましょう。

【消火器の種類】



消火器

住宅用消火器

エアゾール式簡易消火具

消火器を使用する時の注意点

- 焦らず落ち着いて、「火事だ!」と大きな声で周囲に知らせる。
- 炎が天井に達したら、すぐに避難する。
- 避難路は、常に確保しておく。

注意 ※消火器には使用期限が定められています。
※消防職員が住宅用防災機器を販売することはありません。悪質な訪問販売や点検にご注意ください。



防災製品

火災から身を守るため、身の回りの物を防災製品にしましょう!

寝具や着衣など身の回りの物への着火による事故や火災が多く発生しています。火災から身を守るため防災製品を使いましょう。

防災製品は、火が接しても着火しにくく、燃え広がるのを防ぎます。防災製品には寝具類、エプロン、アームカバーなどがあり、ホームセンター等で購入できます。

※防災製品について詳しくは最寄りの消防署にお問い合わせください。



防災製品ラベル



「防災製品ラベル」が安心の目印です。



布団による燃焼比較実験

防災製品

非防災製品



エプロンによる燃焼比較実験

防災製品

非防災製品

秋の火災予防運動

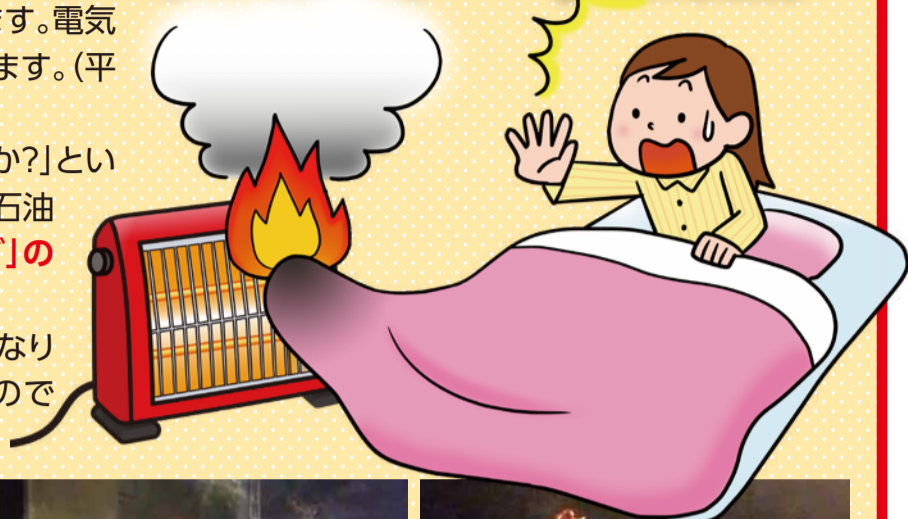
11月9日(金)～11月15日(木)

電気ストーブ火災に注意!

これからの季節、電気ストーブを使用する機会が増えます。電気ストーブ火災の9割は、11月から3月にかけて発生しています。(平成29年中)

「ストーブのうち、最も火災の危険が高いと思うのは何か?」という、2万人に及ぶアンケート調査の結果、8割以上の方が「石油ストーブ」と回答しました。しかし、**実際には「電気ストーブ」の火災が7割以上**と最も多く発生し死者も出ています。

電気ストーブは手軽で「火を使わない」ことで、火災になりにくく安全だと思われがちですが、高熱を発生していますので注意して使用することを心がけてください。



◆電気ストーブ火災の実態

平成29年の東京消防庁管内の電気ストーブ火災は100件で、8人の方が亡くなり、32人の方がけがをされています。過去10年間の状況を見てみると、毎年100件前後電気ストーブ火災が発生しています。

◆電気ストーブ火災の特徴

電気ストーブ火災による死者の7割は、75歳以上の後期高齢者の方が占めています。一人暮らしの方が電気ストーブのスイッチを入れたまま就寝し、寝返りの際に布団が接触したことにより、火災が発生し、亡くなっています。また、火災の程度が大きくなっても一酸化炭素中毒により亡くなる方が多いのが現状です。



電気ストーブに布団が接触し出火した実験の様子



電気ストーブにパジャマが接触し出火した実験の様子

◆電気ストーブは不具合を感じたら使用中止を!

電気ストーブを使用するときは、周囲に燃えやすい物を置かない、外出時や就寝時には必ず消し、ストーブの近くで洗濯物を乾かさないようにしてください。

また、電気製品は長期間の使用によって、内部の部品に劣化や摩耗が生じ、発火の原因となることがあります。使用中、不具合を感じたときは、使用を中止し、専門の業者に点検してもらいましょう。

住まいの防火防災診断



東京消防庁では、高齢者や障害者の方など、災害時に支援が必要な方のお宅を消防職員が訪問し、火災、地震、家庭内事故の危険性などについてアドバイスを無料で行っています。

診断の所要時間は約30分です。最寄りの消防署まで、お気軽にご相談・お問い合わせください。

診断項目の一例

- 【火災予防】暖房器具やガスコンロなどの使用状況、住宅用火災警報器の設置・維持管理状況など
- 【地震対策】家具類の転倒・落下・移動防止対策など
- 【家庭内事故】階段、床等の転倒危険個所の状況、浴室内事故の危険性など



※診断を行う場合は必ずご本人の同意をいただきます。

●消防演習のお知らせ●

- 日時:平成30年11月8日(木) 9:00～10:00予定
- 実施場所:松坂屋上野店・上野フロンティアタワー 台東区上野3-24-6付近

一日消防署長に俳優の北村一輝(きたむら かずき)さんをお迎えし、大規模な消防演習を実施して消防隊・消防団等と共に火災予防を呼びかけます。お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。



平成30年秋の火災予防運動ポスター



新春を飾る!平成31年東京消防出初式

【日時】平成31年1月6日(日)9時30分から【場所】東京ビッグサイト(江東区有明)

屋外式典イベント

- ・オリンピック・パラリンピック選手による東京2020大会応援イベント
- ・音楽隊・カラーガーズ隊・ダンス部会演技
- ・徒列部隊行進・機械部隊行進
- ・江戸消防記念会による木遣り行進&はしご乗り演技
- ・消防演技&一斉放水

屋内展示イベント

- ・VR防災体験車による災害疑似体験
- ・はしご車搭乗体験・ポンプ車乗車体験
- ・音楽隊・カラーガーズ隊による新春コンサート
- ・多彩な消防展示・イベント



東京消防出初式に抽選でご招待!

《応募締切》平成30年11月2日(必着)

《応募方法》往復はがき記入内容

- ①代表者の住所・氏名
- ②希望座数【最大5席まで】
- ③席が必要な全員の氏名・年齢
- ④車いす席、手話通訳席をご希望の方はその旨を記載

以上の記入内容を明記のうえ、下記の宛先へご応募ください。

《宛先》〒100-0004

東京都千代田区大手町1-8-1 KDDI大手町ビル内郵便局留め
東京消防庁 出初式担当

※詳細は、東京消防庁ホームページ、フェイスブック、
ツイッターに掲載しています。

みなさんのご応募をお待ちしております。



<p>往信</p> <p>〒100-0004 東京消防庁 出初式担当 行</p>	<p>返信時に 使用しますので 記入しないで ください。</p>	<p>返信</p> <p>代表者の住所 (返信はがき送付先を記入ください) 代表者の名前</p>	<p>①代表者の住所・氏名 ②希望座数 ③席が必要な全員の 氏名・年齢 ④車いす席、手話通訳 席をご希望の方はそ の旨を記載してくだ さい。</p>
--	--	--	--

消防団の紹介 消防団員にインタビュー

高輪消防団 第2分団
団員 原 江梨子さん(会社員)

Q. 入団のきっかけはなんですか?

A. 私の職場は消防団に協力的で、上司から入団を勧められたことがきっかけです。

Q. どんなお仕事をされていますか?

A. 福祉関係の仕事をしています。仕事はシフト制なので、消防団の活動に参加できないこともありますが、仕事の後や休日の活動があるときに参加しています。

Q. 入団して良かったことはありますか?

A. 地域の方々と親しくなれたことが1番良かったと思います。また、緊急時の対応を理解できることで、職場でも役立つ知識が得られました。

Q. 消防団のやりがいは何ですか?

A. 私の所属する高輪消防団では、女性消防団員も積極的に訓練に参加しています。ゼロからのスタートでも周りの団員の方々が親身に指導してくださり、地域に貢献しながら、自分の成長を感じられる事にとってもやりがいを感じます。

Q. これから入団を考えている方へのメッセージを!

A. もし興味があれば、入団をお勧めします。色々な人と繋がりが持て、とても楽しいと思います。



工作中的原団員



活動中の原団員

消防団とは?

消防団は消防署と連携し、消火活動や人命救助活動などのほか、地域防災力の要として地域住民に対し、防火防災指導や応急救護指導を行っています。

消防団員は、それぞれの職業に就きながら、必要の都度召集される特別職の非常勤公務員で、自営業の方や会社員、さらには学生や主婦など、男性のほか女性も多く活躍しています。

消防団員募集

入団条件 18歳以上の健康な方であれば入団資格があります。

問合せ先 23区の方は最寄りの消防署・消防団本部まで、市町村の方は各市町村まで。

詳しくは、東京消防庁HP「首都東京を守る消防団」をご覧ください。



お楽しみプレゼントコーナー



ご応募いただいた方の中から抽選で119名様に「東京消防庁オリジナル防滴ケース4点セット」をプレゼント!!

- ・防滴ケース
- ・アルミブランケット
- ・LEDライト
- ・ホイッスル

《応募方法》ハガキに①住所②氏名③年齢④性別⑤職業⑥広報とうきょう消防をご覧になった感想をご記入のうえ、下記の宛先までご応募ください。

〒100-8119 (住所不要)

東京消防庁広報課「広報とうきょう消防」編集担当

《締切》平成30年11月5日(月)必着(応募はお1人様につき1枚といたします。)

《当選発表》プレゼントの発送をもって発表といたします。

※応募の際にご記入いただきました個人情報につきましては、抽選及びアンケート集計事務にのみ使用いたします。

前回(第30号)プレゼントコーナーへのたくさんのご応募ありがとうございました。

たくさんのご応募をお待ちしています!

